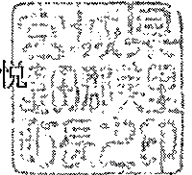


美 建 第1155号

平成20年10月22日

国土交通省道路局長 殿

宮城県美里町長 佐々木 功 悦



今後の道路行政についての意見・提案の提出について（回答）

平成20年9月19日付け国道企第37号で依頼のありました標記につきまして、別添のとおり回答いたしますのでよろしくお取り計らい願います。

今後の道路行政についての意見・提案

様式①

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

宮城県美里町

地方の計画的かつ着実な道路整備を推進するため、地方の道路整備の必要性を十分に考慮し、必要な財源を確保することが重要であります。
道路特定財源が一般財源化された場合の地方における負担の増加が明白であり、加えて地方分権改革推進委員会の答申が現実となれば、更に地方の不安が拡大し、道路整備事業が衰退する危惧があります。 このような、状況を充分把握し対応方お願いするものであります。

今後の道路行政についての意見・提案

②-1地域の現状と抱える課題

様式②

宮城県美里町

○現状

平成13年度に、国道108号小牛田バイパスが全線開通し、市街地部の交通混雑の解消や、沿線環境の改善が図られました。
しかし、バイパス終点から大崎市までの区間は幅員が狭いため、特に朝夕には、交差点付近の渋滞が激しく、道路利用者は大変不便を感じています。

○課題

石巻市と新庄市を結ぶ国道108号は、太平洋沿岸地域と日本海沿岸地域を結ぶ大動脈であり、広域的な地域連帯の強化を図る重要な役割を担う石巻新庄道路地域高規格道路と関連している重要な路線であります。
地域高規格道路候補路線「石巻新庄道路」の計画路線への早期昇格を図る必要があります。

今後の道路行政についての意見・提案

様式③

②-2地域の目指すべき将来像

宮城県美里町

- ・本町を東西に貫く国道108号は、産業・経済活動の大動脈として必要不可欠な路線であり、鉄道と調和した町づくりの重要な基盤でもあります。
- ・「人つどい、共に築く、幸せと豊かさを実感できる町 美里町」を将来像とした総合計画の下、諸施策を具体化して取り組んでおります。そのような状況下で人口減少に加え少子高齢化が加速する中、それに対応した地域社会の構築が最重要課題であります。
- ・町の基幹産業を稲作を中心とする農業に置きながらも、交通の要衝と言う利便性を活かした町づくりを目指しております。
- ・現在町では人口の定住化を促進するため小牛田駅東部地区に670戸の住宅団地を造成すると共に、交通の要衝を十分に活かした企業誘致の推進を、物流の拠点整備なども視野に入れて町づくりを進めております。
- ・物流の拠点を目指す本町の将来構想では、東北自動車道古川インターチェンジまでの国道108号の整備と、国道108号から幹線町道そして県道を経て三陸自動車道鳴瀬奥松島インターチェンジを結ぶルート of 幹線整備が、絶対的な要件と考えております。

今後の道路行政についての意見・提案

③道路施策の重点事項(代表事例、期待する効果や評価等)

様式④

宮城県美里町

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
国道108号沿線地域の交通渋滞緩和と環境環境改善	本小牛田地域市街地部の国道108号は、約600mの区間に4箇所の直角曲がり、復員が狭いため四六時中渋滞混雑箇所でしたが平成13年度に小牛田バイパスが全線開通したことで、大幅に改善された。	バイパス開通と共に、市街地が静寂を取り戻し、安全で安心して生活のできる環境になりました。 また、物流の拠点や、定住化人口の促進を目指す本町にとって、大動脈の国道108号の果たす役割は極めて重要で、尚一層の整備促進を図る必要があります。	宮城総合家畜市場は県内外からの取引で盛況に開催されていますが、国道108号の交差点改良の結果、スムーズな流れができました。しかし、前後の交差点は未だ渋滞混雑が解消されておりません。一日も早い整備を望むものであります。